

コメント

1. インフルエンザ

定点当り2.5人と増加し、注意報レベル(定点当り10人)を超えました。東区27.8人、安芸区21.3人、佐伯区16.3人、中区13.2人、南区10.6人と注意報レベルを超えています。

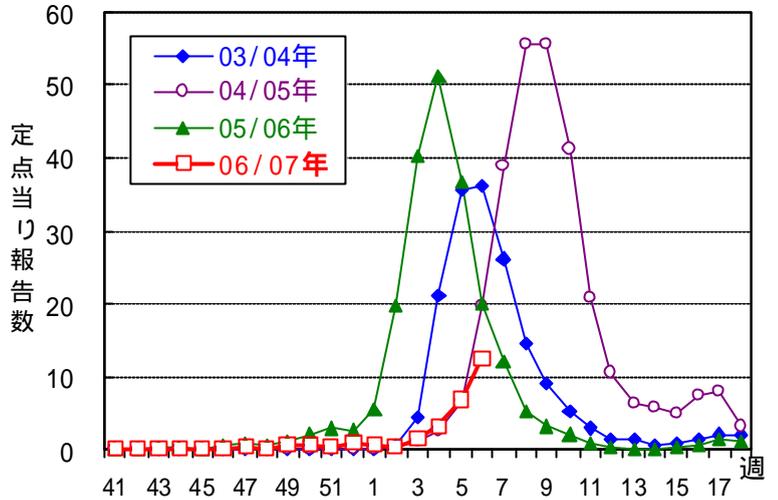
2. 感染性胃腸炎

定点当り2.0人とやや増加しています。安芸区では33.0人と特に多く、安佐北区16.7人、中区14.3人、東区10.7人となっています。

3. 水痘

定点当り2.00人とやや増加しています。中区では5.0人となっています。

インフルエンザ



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均去5年(注1間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均去5年(注1間)	発生記号
インフルエンザ(注2)	461	12.46	22.52	▲	麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	17	0.71	0.15	◁	流行性耳下腺炎	1	0.04	1.04	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	2.67	1.32	◁	RSウイルス感染症	6	0.25	0.11	
感染性胃腸炎	287	11.96	13.10	◁	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	48	2.00	2.15	◁	流行性角結膜炎	3	0.38	0.80	
手足口病	5	0.21	0.18		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	12	0.50	0.22		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性発疹	14	0.58	0.81		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.23	
百日咳	-	-	0.01		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.04						

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当り)
 (注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3)成人麻疹を除く
 (注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	クロイツフェルトヤコブ病	1	1	女性(70歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
広島市	第2週	12	21	22	185	51	6	9	12	-	-	2	-	4	19	-	6	1	-	5	-	-
	第3週	49	14	44	190	36	7	9	14	-	-	2	-	7	18	-	3	-	-	3	-	-
	第4週	121	8	41	227	47	2	6	7	-	-	-	-	1	14	-	7	-	-	3	-	-
	第5週	252	19	58	258	38	3	9	10	-	-	-	1	9	-	4	1	-	-	-	-	-
	第6週	461	17	64	287	48	5	12	14	-	-	2	-	1	6	-	3	-	-	3	-	-
	全国	第4週	2.58	0.33	2.51	6.68	2.30	0.38	0.74	0.64	0.01	-	0.03	-	0.53	0.03	0.67	0.02	0.01	0.52	-	-
全国	第5週	5.31	0.34	2.62	6.69	2.04	0.36	0.65	0.65	0.01	-	0.03	-	0.69	0.03	0.63	-	0.04	0.55	-	-	

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	不明	女	不明	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	不明	不明	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	不明	不明	咽頭拭い液	インフルエンザB型

お知らせ

平成17年の結核・感染症発生動向調査事業報告書をホームページに掲載しました。

URL http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/kan_center/doko/doko_rep.htm

お問合せ：広島市社会局保健医療課

保健予防・指導係 電話 082-504-2622

【参考】広島市におけるインフルエンザの流行状況 - 注意報レベルを超えた時期からピークまでの期間 -

シーズン	注意報レベルを超えた時期 (定点当り10人以上となった週)	ピーク		
		ピークとなった週	定点当り報告数(人)	注意報レベルを超えた時期からピークまでの期間
1999/00	第2週(1月10日～1月16日)	第4週(1月24日～1月30日)	50.7人	2週間
2000/01	-	第11週(3月12日～3月18日)	2.84人	-
2001/02	第4週(1月21日～1月27日)	第8週(2月18日～2月24日)	47.7人	4週間
2002/03	第51週(12月16日～12月22日)	第3週(1月13日～1月19日)	36.4人	4週間
2003/04	第4週(1月19日～1月25日)	第6週(2月2日～2月8日)	36.2人	2週間
2004/05	第6週(2月7日～2月13日)	第8週(2月21日～2月27日)	55.8人	2週間
2005/06	第2週(1月9日～1月15日)	第4週(1月23日～1月29日)	51.1人	2週間
2006/07	第6週(2月5日～2月11日)			

1999/00シーズンから2005/06シーズンまでの7シーズンの中で、注意報レベルの定点当り10人以上となった週からピークとなった週までの期間は、注意報レベルに達しなかった2000/01シーズンを除いて、2週間～4週間で、平均すると2.7週間となっています。

インフルエンザウイルス検出速報

2月判明分(検体採取日 2007年1月30日～2月8日)

	散発(病原体定点より搬入)			集団かぜ			合計		
	Aノン型	A香港型	B型	Aノン型	A香港型	B型	Aノン型	A香港型	B型
2月判明分	0	3	3	0	0	3	0	3	6
今シーズン計	1	3	5	0	0	3	1	3	8

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第6週(2月5日～2月11日)